

グループホームかっこの森ぬまでて A棟
自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあ った内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有 と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている ② B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本理念は、事業所や共有スペースに掲示し、職員と理念を共有し実践に繋がっている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている ② B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町内施設や民生委員の方からのお誘いを受け、行事等に参加する機会が増えている。地域の方にも認知症について知ってもらう機会を増やしたい。	町内行事や施設内行事があれば、声を掛けていただいている。地域の一員として参加し交流を深めていきたい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている ② B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議を開催し、事業所での取り組み等を報告し、会議出席者からの意見を参考にサービス向上に繋がっている。	運営推進会議出席の家族様から外出への意見やサービス内容について伺い、実際にサービスへ繋がっている。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている ② B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要時は介護保険課や生活福祉課、地域包括支援センター、高齢支援センターと連絡調整を行い、協力関係を築けるよう取り組んでいる。	必要時は行政に問い合わせや相談をしている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている ② B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束に関する研修を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関は7時から20時までは施錠を外している。		① A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社内研修時に外部講師をお招きし、虐待の種類や起こる要因などの理解を深めている。日頃職員と利用者様との会話の中で些細な変化にも気づけるよう精神的な面でも意識している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社内研修時、資料を用いて権利擁護が必要とされる背景や、権利侵害が疑われる時の早急な対処の方法を学んでいる。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要時、重要事項説明書や利用契約書の説明をしっかりと行い、不安や疑問がないか確認しながら、理解、納得し同意をえている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者家族が意見を言いやすいよう些細なことでも相談・報告するよう心掛けている。玄関先にご意見箱を設置している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の職員会議、希望者への個人面談を行い、提案や意見を直接聞き、可能な部分は運営に反映できるように努めている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人面談や人事考課を基に個人の希望や要望を把握し、やりがいを持って働ける環境の整備に努めている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	採用後3ヶ月は担当の先輩職員が業務内容の指導についている。研修は費用の補助などがあり、個々のスキルに合わせ参加しやすい環境が整えられている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣施設の職員と交流を図れるよう取り組んではいるが、思うように行えていない。外部研修や交流会に参加することで同業者との交流の機会に繋がっている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の生活の中で、本人の希望を尋たり、今までの生活で培った知恵などを教えて頂きながら、共に生活する者同士の関係を築いている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の協力があり、本人の昔からの馴染みの床屋やかかりつけ医などとの関係が途切れないよう支援出来ている方も多い。	いつでも面会ができる環境にしているため、馴染みの方もいつでも来られるよう支援している。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各利用者に担当の職員がおり、それぞれ利用者の心身状態や気持ちの変化を確認し、本人がやりたいこと、希望などを聞き意向の把握に努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の申し送り、月1度の職員会議でケアについての気付きを共有し、反映している。また、普段から利用者、家族にも要望、意向の確認を行っている。	本人、家族の意見を聞き、状態に合った計画書の作成をしていることを伝えると、いつもよくしてもらっていますとの声をいただいた。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

18	個別の記録 と実践への 反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人日々の生活の様子、普段と少しでも違うことがあれば記録に残し、職員間で共有している。計画書の作成時など見直しに活かしている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを 支えるため の事業所の 多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の要望に対応できるよう、できる限り取り組んでいる。必要時には、外部のサービス利用の提案などを行っている。	自分達が難しい時には協力してもらったり、外部のサービス利用の提案をもらい助かったとの声をいただいた。		
20	地域資源と の協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議において、町内会の役員、民生委員、近隣施設等地域の資源などに詳しい方々に出席して頂き詳しく教えて頂いている。行事への参加や、一人一人が安心して暮らせるよう支援している。	運営推進会議を通し、地域行事や町内施設の行事に参加できるようにつとめていきたい。		
21	かかりつけ 医の受診支 援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	受診について、意向と受診対応についての確認を行っている。事業所のかかりつけ医の往診時は家族も同席でき、適切な医療を受けられるように支援している。			
22	入退院時の 医療機関と の協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院した際には安心して治療できるよう必要な備品の準備や情報提供を行い、退院後の生活の安定を図りながら、協力医療機関を含めた病院関係者との関係づくりを行っている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終 末期に向け た方針の共 有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に重度化した場合や終末期について事業所で出来る事を説明している。主治医や医療関係者、家族とともにチームで支援に取り組んでいる。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部研修と緊急時対応マニュアルの活用で再確認の機会を設けている。また、マニュアルは現場に沿ったものになるよう適宜見直しをしている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	消防訓練を定期的に行い消防署へ報告をしている。運営推進会議の場で地域の方々に協力体制を築けるよう話し合いをしている。	年2回災害、水害訓練を新人職員が夜間を想定し実施している。また町内施設への協力体制を依頼している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人一人の人格を尊重し、人生の先輩として尊厳を大事にし、失礼のない言葉使いを日頃から意識し行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	場面に合わせてどのようにしたいかを、利用者を選択していただいている。言葉にできない利用者に対しては、表情等を見ながら意向をくみ取るよう努めている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節の食材を使ったり、食べたいと言った物を取り入れ、彩りに気を付けて献立を作成している。簡単な調理や盛り付けは職員と一緒にしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者個々の状態に合わせて水分や食事を提供し、1日に必要な栄養素を摂取できるよう努めている。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの力に応じた口腔ケアの支援を毎食後行っている。必要時には訪問歯科による治療を行えるよう支援している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表を利用し、個人の排泄パターンが掴めるよう努めている。一人一人に合った声掛けや介助方法を職員間で共有し対応している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の気持ちや体調に配慮しながら入浴の声掛けを行い、リラックスした入浴を楽しんでもらえるよう配慮している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中は居室やリビングのソファ等利用者の希望に沿って休息できる環境を作っている。夜間は室温や明るさなど本人の好みに配慮し安心して眠れるよう支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お薬情報を個人別に保管し、全職員が薬の内容を確認できるようにしている。事前のダブルチェック、飲み込みの確認も行っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者個々の希望や力を考慮しながら、家事へ参加して頂いている。盛り付けや洗濯量など、役割を担ってもらえるよう支援している。	家で行っていた家事をやることで、認知症の進行が落ち着いているように感じているとの声をいただいた。		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の意見を聞き、ドライブや買い物などへ行けるよう支援している。また毎月行事を計画し、外出の機会を増やせるよう支援している。	毎月の行事に参加させてもらい、写真でも笑顔で楽しそうにしているのが伝わっているとの声をいただいた。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者ひとり一人に応じて、本人と家族と相談し実施している。外出時は自分で支払いを出来るよう支援している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望時には電話を取り次ぐ、個人の携帯電話の操作などの支援を行っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使用していた馴染みのある家具を持参して居室で使用されている。リビングの窓から中庭が見える事で、季節を感じて頂きながらゆっくりと過ごすことが出来るよう配慮している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時やプラン見直しの際意向の確認を行っている。日頃の会話や行動なども見逃さず個々の思いに沿った支援に努めている。			

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	家族や本人からの暮らしの習慣などの情報をもとに職員間で共有し日々の支援に繋げている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	バイタル測定や食事・水分量の観察を行っている。普段と違う様子があれば必要時は主治医や家族に報告、ケア内容の見直しや変更をしている。		☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員が利用者一人一人の今までの習慣を把握することで本人のリズムで生活が送れるよう支援している。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居時は馴染みの家具や愛用品などを可能な限りご持参して頂いている。居室内は写真を置いたり自由にレイアウトしてもらっている。		☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	本人、家族の希望があれば家族の協力の下行っている。必要時は職員が同行できる体制も整えている。	外出は去年よりできていると感じている。また、家族の対応が難しい時は、職員付き添いで催事への参加もしている。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	本人ができること、できないこと、わからないことなどセンター方式を活用したり、本人との会話からできる役割や興味のあるものに参加してもらう。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段の会話や日課、できる役割や季節を感じるができる行事へ参加できるように支援している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣施設へはイベントがあるとお声掛け頂き、数名で施設へ伺うこともある。その際、地域の方や他施設スタッフと交流している。	施設内のイベントに参加し てくださり、有り難い。八戸地域でのお祭りやえんぶりも一緒に参加できればいいなと思っていますとの声をいただいた。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームで当たり前のことを当たり前にする生活ができ、家族の面会や慣れ親しんだ職員と過ごすことで、笑顔で日々をおくれている。	家族より、いつでも面会ができるので安心できる。部屋にばかり居るのではなく、職員や他の入居者と過ごす時間があって楽しく過ごせていると思いますとの声をいただいた。	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

グループホームかっこの森ぬまでて B 棟
自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあ った内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有 と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本理念は、事業所や共有スペースに掲示し、職員と理念を共有し実践に繋がっている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町内施設や民生委員の方からのお誘いを受け、行事等に参加する機会が増えている。地域の方にも認知症について知ってもらう機会を増やしたい。	町内行事や施設内行事があれば、声を掛けていただいている。地域の一人として参加し交流を深めていきたい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議を開催し、事業所での取り組み等を報告し、会議出席者からの意見を参考にサービス向上に繋がっている。	運営推進会議出席の家族様から外出への意見やサービス内容について伺い、実際にサービスへ繋がっている。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要時は介護保険課や生活福祉課、地域包括支援センター、高齢支援センターと連絡調整を行い、協力関係を築けるよう取り組んでいる。	必要時は行政に問い合わせや相談をしている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束に関する研修を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関は7時から20時までは施錠を外している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社内研修時に外部講師をお招きし、虐待の種類や起こる要因などの理解を深めている。日頃職員と利用者様との会話の中で些細な変化にも気づけるよう精神的な面でも意識している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社内研修時、資料を用いて権利擁護が必要とされる背景や、権利侵害が疑われる時の早急な対処の方法を学んでいる。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要時、重要事項説明書や利用契約書の説明をしっかり行い、不安や疑問がないか確認しながら、理解、納得し同意をえている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者家族が意見を言いやすいよう些細なことでも相談・報告するよう心掛けている。玄関先にご意見箱を設置している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の職員会議、希望者への個人面談を行い、提案や意見を直接聞き、可能な部分は運営に反映できるように努めている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人面談や人事考課を基に個人の希望や要望を把握し、やりがいを持って働ける環境の整備に努めている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	採用後3ヶ月は担当の先輩職員が業務内容の指導についている。研修は費用の補助などがあり、個々のスキルに合わせ参加しやすい環境が整えられている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣施設の職員と交流を図れるよう取り組んではいるが、思うように行えていない。外部研修や交流会に参加することで同業者との交流の機会に繋がっている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の生活の中で、本人の希望を尋たり、今までの生活で培った知恵などを教えて頂きながら、共に生活する者同士の関係を築いている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の協力があり、本人の昔からの馴染みの床屋やかかりつけ医などとの関係が途切れないよう支援出来ている方も多い。	いつでも面会ができる環境にしているため、馴染みの方もいつでも来られるよう支援している。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各利用者に担当の職員がおり、それぞれ利用者の心身状態や気持ちの変化を確認し、本人がやりたいこと、希望などを聞き意向の把握に努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の申し送り、月1度の職員会議でケアについての気付きを共有し、反映している。また、普段から利用者、家族にも要望、意向の確認を行っている。	本人、家族の意見を聞き、状態に合った計画書の作成をしていることを伝えると、いつもよくしてもらっていますとの声をいただいた。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一人一人日々の生活の様子、普段と少しでも違うことがあれば記録に残し、職員間で共有している。計画書の作成時などに見直しに活かしている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	本人や家族の要望に対応できるよう、できる限り取り組んでいる。必要時には、外部のサービス利用の提案などを行っている。	自分達が難しい時には協力してもらったり、外部のサービス利用の提案をもらい助かったとの声をいただいた。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	運営推進会議において、町内会の役員、民生委員、近隣施設等地域の資源などに詳しい方々に出席して頂き詳しく教えて頂いている。行事への参加や、一人一人が安心して暮らせるよう支援している。	運営推進会議を通し、地域行事や町内施設の行事に参加できるようにつとめていきたい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	受診について、意向と受診対応についての確認を行っている。事業所のかかりつけ医の往診時は家族も同席でき、適切な医療を受けられるように支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入院した際には安心して治療できるよう必要な備品の準備や情報提供を行い、退院後の生活の安定を図りながら、協力医療機関を含めた病院関係者との関係づくりを行っている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	契約時に重度化した場合や終末期について事業所で出来る事を説明している。主治医や医療関係者、家族とともにチームで支援に取り組んでいる。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	内部研修と緊急時対応マニュアルの活用で再確認の機会を設けている。また、マニュアルは現場に沿ったものになるよう適宜見直しをしている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	消防訓練を定期的に行い消防署へ報告をしている。運営推進会議の場で地域の方々に協力体制を築けるよう話し合いをしている。	年2回災害、水害訓練を新人職員が夜間を想定し実施している。また町内施設への協力体制を依頼している。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者一人一人の人格を尊重し、人生の先輩として尊厳を大事にし、失礼のない言葉使いを日頃から意識し行っている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	場面に合わせてどのようにしたいかを、利用者に選択していただいている。言葉にできない利用者に対しては、表情等を見ながら意向をくみ取るよう努めている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	季節の食材を使ったり、食べたいと言った物を取り入れ、彩りに気を付けて献立を作成している。簡単な調理や盛り付けは職員と一緒にしている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者個々の状態に合わせて水分や食事を提供し、1日に必要な栄養素を摂取できるよう努めている。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの力に応じた口腔ケアの支援を毎食後行っている。必要時には訪問歯科による治療を行えるよう支援している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表を利用し、個人の排泄パターンが掴めるよう努めている。一人一人に合った声掛けや介助方法を職員間で共有し対応している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の気持ちや体調に配慮しながら入浴の声掛けを行い、リラックスした入浴を楽しんでもらえるよう配慮している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中は居室やリビングのソファ等利用者の希望に沿って休息できる環境を作っている。夜間は室温や明るさなど本人の好みに配慮し安心して眠れるよう支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お薬情報を個人別に保管し、全職員が薬の内容を確認できるようにしている。事前のダブルチェック、飲み込みの確認も行っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者個々の希望や力を考慮しながら、家事へ参加して頂いている。盛り付けや洗濯量など、役割を担ってもらえるよう支援している。	家で行っていた家事をやることで、認知症の進行が落ち着いているように感じているとの声をいただいた。		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の意見を聞き、ドライブや買い物などへ行けるよう支援している。また毎月行事を計画し、外出の機会を増やせるよう支援している。	毎月の行事に参加させてもらい、写真でも笑顔で楽しそうにしているのが伝わっているとの声をいただいた。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者ひとり一人に応じて、本人と家族と相談し実施している。外出時は自分で支払いを出来るよう支援している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望時には電話を取り次ぐ、個人の携帯電話の操作などの支援を行っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使用していた馴染みのある家具を持参して居室で使用されている。リビングの窓から中庭が見える事で、季節を感じて頂きながらゆっくりと過ごすことが出来るよう配慮している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時やプラン見直しの際意向の確認を行っている。日頃の会話や行動なども見逃さず個々の思いに沿った支援に努めている。			

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	家族や本人からの暮らしの習慣などの情報をもとに職員間で共有し日々の支援に繋げている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	バイタル測定や食事・水分量の観察を行っている。普段と違う様子があれば必要時は主治医や家族に報告、ケア内容の見直しや変更をしている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員が利用者一人一人の今までの習慣を把握することで本人のリズムで生活が送れるよう支援している。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居時は馴染みの家具や愛用品などを可能な限りご持参して頂いている。居室内は写真を置いたり自由にレイアウトしてもらっている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	本人、家族の希望があれば家族の協力の下行っている。必要時は職員が同行できる体制も整えている。	外出は去年よりできていると感じている。また、家族の対応が難しい時は、職員付き添いで催事への参加もしている。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	本人ができること、できないこと、わからないことなどセンター方式を活用したり、本人との会話からできる役割や興味のあるものに参加してもらう。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段の会話や日課、できる役割や季節を感じるができる行事へ参加できるように支援している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣施設へはイベントがあるとお声掛け頂き、数名で施設へ伺うこともある。その際、地域の方や他施設スタッフと交流している。	施設内のイベントに参加し てくださり、有り難い。八戸地域でのお祭りやえんぶりも一緒に参加できればいいなと思っていますとの声をいただいた。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームで当たり前のことを当たり前にする生活ができ、家族の面会や慣れ親しんだ職員と過ごすことで、笑顔で日々をおくれている。	家族より、いつでも面会ができるので安心できる。部屋にばかり居るのではなく、職員や他の入居者と過ごす時間があって楽しく過ごせていると思いますとの声をいただいた。	☒ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	